

備後教区報

第 163 号

2017(平成 29) 年 12 月 20 日



進進ヒューマンライツ部

平和のつどいで公演



CONTENTS

- ◇公聴会
- ◇過疎対応支援員 就任挨拶
- ◇第 22 回平和のつどい
- ◇仏法愛楽味
- ◇視点「環境・人権問題現地学習会」
- ◇活動情報&インフォメーション

結ぶ絆 から、広がるご縁へ
-From tying bonds to great encounters-



公聴会



伝灯奉告法要御満座の消息披露 総局巡回・公聴会が開催される

【総局巡回・公聴会】

伝灯奉告法要御満座に際して第25代専如ご門主よりご発布いただいた「伝灯奉告法要御満座の消息」を披露し、その趣旨演達を行うため、総局による教区巡回、並びにご親教「念仏者の生き方」に学ぶとともに、宗門が抱える諸課題について総局が広く全国の僧侶・寺族・門信徒から意見・提言を伺う公聴会を9月20日(水)、本願寺備後教堂にて開催した。

第1部「ご消息披露式典」

厳粛な雰囲気の中、山階昭雄総務が「伝灯奉告法要御満座の消息」を披露し、菅原順昭教務所長に伝達された後、同総務より趣旨演達が行われた。続いて、吉村隆真特命布教講師よりご法話をいただき第一部の式典を終了した。

第2部 公聴会

公聴会は常光和信教区会議長が座長となり、まずご親教「念仏者の生き方」に学ぶと題し、佐々木義英総合研究所教学伝道研究室長よりプロジェクトを使用した説明が行われた。

その後、森田順照社会部長より、「平和に関する論点整理」をテーマとした公聴会の意見集約についての報告が行われた。

協議の時間には

- ① (特別会計) 災害対策金庫の新たな原資の確保について
- ② 「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 総合基本計画・重点プロジェクト改定について
- ③ 10年、20年後の日本社会で求められる僧侶像・寺院像について

以上3点についての説明がなされた後、意見聴取が行われた。



広く意見を伺いたいという総局の意向により、意見聴取の時間は60分に設定され、出席者より今後の実践運動推進について、また宗門の抱える諸問題についての意見が出された。

過疎対応支援員 就任ご挨拶

1 過疎対応支援員とは

このたび「宗門総合振興計画」において、過疎問題を抱える寺院に専門的、かつ専属的に取り組む「過疎対応支援員」を必要な教区に配置することとなりました。全国に先駆け、解散・合併寺院数が多い富山と山陰の2教区がモデル教区として配置され、本年10月、新たに備後を含む5教区【備後・滋賀・石川・安芸・四州】に設置されました。

2 支援員の役割

人口減少、核家族化に伴う少子高齢化の影響を受け、寺院活動が難しくなっている寺院、住職、門徒総代をはじめとする寺院関係者のみなさまが抱える問題についてお伺いしながら、今後の寺院の在り方、存続の方途などを一緒に考えていきます。

3 今後の取り組み

モデル教区の取り組みを参考としながら、過疎対応支援員と教区寺院振興対策委員会にて備後教区における過疎の現状を把握したうえで、今後の取り組みについて協議・検討を進めてまいります。

4 「もしび法座」 ご存知ですか？

教区では寺院振興の一環として法座支援事業「もしび法座」の活用を奨励しております。
対象となる住職不在の寺院（住職代務含む）よりの申請を受けた後、布教団より講師を派遣し、法座開設の経費補助として教区より2万円を交付しております。
詳しい内容、申請にかかる手続き等については備後教区教務所までお問い合わせください。



さたけ こうしょう
佐武 晃正 支援員
(神石組光福寺住職)

過疎対応支援員就任に当たって

この度「過疎対応支援員」を任命された神石組光福寺住職 佐武晃正です。
もはや周知の通り宗門は宗門総合計画の基本方針「宗門の基盤づくり」の一環として、昨年より「過疎対応支援員」を設置いたしました。過疎化の問題は寺院固有の問題ではなく、行政課題としての側面もあります。過疎に悩む寺院の情報を適格に収集し、寺院とご門徒・行政や企業との持つ力を結集し過疎にあっても楽しく生活できる方向性を模索していきたいと考えております。

Close-Up-Bingo

第22回 備後教区平和のつどい

～全戦争犠牲者を偲んで 平和を築く道～



今年の平和のつどいは、現役中高生の公演。大人や僧侶にとっても非常に考えさせられる縁であった。その内容を紹介したい。(記事・平和のつどい実行委員)

日時 2017年8月23日(水)
会場 三次市CCプラザ

2017(平成29)年度 第22回 備後教区平和のつどいは、三次組・三谿組・比婆組担当のもと、8月23日(水)三次市のC.C.プラザを会場に開催されました。まず開会に先立ち教務所長を導師に3組の法中を結衆として全参加者による『全戦争犠牲者追悼法要』が営まれました。

次いで菅原順昭備後教務所長による挨拶、担当組を代表して一條博堂三谿組組長より挨拶をいただきました。会が始まって行きました。

今回は、盈進中学高等学校ヒューマンライツ部により『もう誰も自分と同じ思いをさせてはならない』という演題の公演をいただきました。「ヒューマンライツ部」の「ヒューマン」とは「人間」「ライツ」は「権利」を意味し、「人権」つまり「人を大切にすること」を部のスピリッツに掲げたクラブであり、その実践活動を公演してもらいました。

「もう誰にも自分と同じ思いをさせてはならない
～私たちの東日本大震災、核廃絶署名活動、ハンセン病問題～」

盈進中学高等学校 ヒューマンライツ部

平成29年度第22回 備後教区
平和のつどい
「全戦争犠牲者を偲んで 平和を築く道」



▲盈進ヒューマンライツ部の皆さん



平和のつどい × 盈進ヒューマンライツ部

公演内容は、「私たちの東日本大震災」「核廃絶！ヒロシマ・中高生により署名キャンペーン」「ハンセン病問題に学ぶ」という三部で構成され、東日本大震災の被災者・避難者、「ヒバクシャ」、ハンセン病患者の方々と心の交流を

通じて学んだことなど、現在にいたる活動内容が上演されました。

最後に、阪神淡路大震災でひとり息子を亡くした加藤りつこさんが壇上に上がられ、息子を亡くした絶望感とヒューマンライツ部との長年の交流から勇気を貰ったことを語られ公演は幕を閉じました。参加者からは最大限の賛辞と拍手が贈られました。

続いて公演の熱気さめやらぬ中、長谷川憲章布教団員による『法話』が行われ、最後に常光和信教区会議長による閉会の挨拶とアピール文の朗読と賛同の拍手を持ってすべての日程を終えました。



「自分に何ができるか。自分はどうか生きるか。」いまでも問われている。

「忘れない！寄り添う！学び続ける！」

「核抑止論は『おどしの平和』」「命の奪い合いをする戦争は絶対反対。一瞬にして多くの命を奪う核兵器は、非人道の極み、絶対悪」

「自分を幸せだと感じる人は他人を憎まない」

「私たちに何ができるか問われている」・・・(公演内容より)

私たちはこの公演から、現代の中高生の実践から、大きな感動と共感を得ました。そしてまた一抹の恥ずかしさも感じました。

「私たちは一人の僧侶として日頃よりこれだけの思いで実践や活動をしているのだろうか」。

現代では「法律」により一人ひとりの命は「人権」として一応守られる社会になっています。

私たちはそれをあたりまえのよう感じながら生活し、往々にしてその「権利」を踏みにじられるケースに遭遇します。

しかしそうした一人ひとりの「権利」などという考え方もなかった時代、「一人ひとりの人間の命の重さは等しい」「その命は人間であろうが動物であろうが同じである」と説き社会的活動をしてきたのは仏教者であったこと、仏教者こそがその実践者であったことを私たちは今一度思い出さねばならない、忘れてはならないと改めて考えさせられた一日でありました。皆様とともに今後の活動に続けて行きたいと思います。

再び若者を戦場に送らないために
私たちは力を尽くそう

備後教区 第22回「平和のつどい」参加者一同

味楽愛法仏

今号より文書伝道の取り組みとして法話「仏法愛楽味」を掲載します。教区報での法話の記載は11年ぶり、執筆は備後教区布教団青年布教使に依頼します。寺院伝道教化活動の一助になることを願います。



沼隈南組西光寺
はこだよしのぶ
箱田義信

ご法事に想う

自坊の法務をさせていたいただいて15年が経ちました。この間、多くの事が変化しているなど感じます。社会情勢、科学技術、文化芸能など、大きく変わったことを実感します。もともと仏教では「諸行無常」を説きますので、変化しないものはないのですが、その速さには戸惑いを覚えます。以前は「十年一昔」という言葉がありましたが、ここ最近の動きを見ますと「五年一昔」でしょうか、いや「一年一昔」という感があります。法務に携わっていても多くの変化を感じます。ここ最近、「家族葬」・「直葬」などの言葉が聞かれるようになりました。

言葉が正しいかどうか分かりませんが、何事も簡素化と言いますか、その傾向にあるように感じます。ご法事・お葬式などの仏事も時代よって変わってはいきませんが、何か大切なことを忘れてはいないかと思えます。

最近ご法事に参った時よく言われることがあります。「今日のお経、有り難くて短いのを願ひし

ます」と。私は「お経を有り難い、有り難くないや長い・短いというものではありませんよ」と答えるのですが、こんな時昔ある先生から聞いた話を思い出します。

その先生は大阪のお寺の住職さんで、ある時ご法事でご門徒さんのお宅に参った際に、「御院さん、今日は時間がないので、一番有り難くて、一番短いのを頼みます」と最初に言われたそうです。先生はかなり頭にきたようですが、こは抑えて「それではそうしましよう」と答えました。おつとめを始める前に先生は「今日は施主様のご意向で、浄土真宗で一番短く、一番有り難いおつとめをいたしますので、皆様心静かにお聞き下さい」と言い、仏壇に向き合掌・礼拝。そしてキンを鳴らして「南無阿弥陀仏」と称え、キンを鳴らして合掌・礼拝。参られた人達に向き直り、一礼して「本日はよくおつとめになりました」と。お参りの方達は目が点になっていました。一呼吸おいて「ちよつと待つて下さい御院さん。ちよつ

とそれは酷すぎませんか？」先生は「あなたは先ほど、一番短くて、一番有り難いおつとめを、と言われたでしょう。これが、浄土真宗で一番短くて一番有り難いおつとめなんです」と答えたそうです。先生は決して酷いことも間違ったこともされてはいません。浄土真宗で一番短く一番有り難く、そしてこれ以外必要ない、言わばおつとめは「南無阿弥陀仏」です。

この私がお浄土へ往生するには「南無阿弥陀仏」これ以外にありません。親鸞聖人はこのお念仏には「もろもろの善法を撰し、もろもろの徳本を具せり」とおっしゃっています。言わば、阿弥陀如来さまのすべてがここにあるとも言えます。この私を救わんがために全てをかけて下さった阿弥陀如来さまのご苦勞を想い、この教えを伝えて下さった先人たちを偲び、私のいのちのあり方を聞かせていただくのが、法事や葬儀などの仏事です。改めてその大切さを考え、丁寧におつとめしたいです。

環境・人権問題現地学習会

視点



本年度の現地研修会は、10月17日・18日と熊本県水俣市を訪れ水俣病について学習した。

参加者は僧侶6名、門徒2名、教務所職員1名の計9名。水俣病は産業活動によって生み出された有機水銀を含む有害物質が不知火海に未処理のまま大量に排出され、環境を汚染し重篤で大規模な人体被害をもたらしたものである。

汚染は戦前から始まっており、漁業被害も起きていたが、患者発生が公式に確認されたのは1956年である。そして政府が水俣病の原因はチッソの排水であることを公式に認めたのは

1968年である。この年までチッソは何の対応も取らず排水を流し続けることにより「人類が経験したことのない公害事件」となったのである。この水俣病事件に学ぶために現地へ向かった。

私たちは13時に新水俣駅につき山下善寛さんと合流し、案内してもらった。山下さんは長年チッソ株式会社(現JNC)に勤務され、退職後は水俣病患者者支援活動に取り組み、「水俣の暮らしを守る・みんなの会」代表をしておられる。最初にチッソ工場正門前に行き工場周辺ならびに百間排水溝を見学の後、水俣病資料館へ行った。眼下に広がる広い公園は水銀へ

ドロを埋めてつくられた埋め立て地である。除去されていない有機水銀は、鋼矢板や合成繊維のシートなどで流出を防いでいるが、海水により鉄板の腐食、シートの劣化によりいつ海へ漏れ出すかわからない状況であるとのことであった。水俣病資料館では係員の説明を受けながら資料や写真などの展示や映像で学ばせてもらった。

その後水俣病多発地区である、湯堂、茂動、神の川などの地区を巡った。現在は活力を感じられない状態であったが、以前は穏やかな湾に面して「魚の宝庫」といわれるほど活気にあふれていたであろうことがうかがえた。

もし「公害」がなかったならば地区の人びとはどんなにも豊かで生き生きとした生活を送っていたであろうことが偲ばれた。

翌日は午前9時から11時まで熊本学園大学の水俣学現地研究センターで山下さんから水俣病の歴史、そして現在の課題について講義を受けた。講義の後、チッソ専用港である梅戸、丸島魚市場、八幡残渣プールを巡り、説明を受け、昼食に向かった。昼食後山下さんと別れ新水俣駅に向かい、15時発の新幹線で帰路についた。

現地学習に学ぶ中で今日もなお根強く水俣病に対する偏見が残っていること、水俣病患者の人びとの救済も認定を巡って混乱が続いていることを知った。水俣病事件はまだ終わっていないのである。

私たちはこのことをしっかりと踏まえ、「自分の生き方や、私たちの暮らしや社会の在り方を問い直してみよう。」とのメッセージにきちんと向きあう必要があると強く思わされた。

現地を歩き、現地の人の話を聞き、自分自身の眼でみる現地学習が大切なことを改めて再確認した現地学習会であった。

& 活動情報

News

朋友の輪を拡げて

仏壮連盟(甲田正規理事長)

では7月30日、夏期研修会を比婆組西楽寺(定光信住職)にて開催し会員124名が参加した。

テーマは連盟スローガンである「朋友の輪を拡げ いのちがやく世界を」とし、三ヶ本義幸講師(安芸教区広島北組徳行寺住職)が講師をつとめた。身近な問題から(例えば老いにより容姿に変化が生じてくること、死を連想させるような病気を患うことなど)ご自坊の門徒さんとのやりとりを例に取りあげながら「朋友の輪を拡げるとはどういうことか?」また、伝灯奉告法要ご親教「念仏者の生き方」に示される社会問題を例に「いのち輝く世界をとともに生きるために自分たちはどうしたらいいのか?」ということを分かり易く講義いただいた。



仏壮連盟

全国大会(東北)に団体参拝

去る9月2日(土)、仙台市民会館にて「第22回全国仏教壮年東北大会」が、ご門主ご臨席のもと開催され、全国から1270名の仏教壮年が参加した。備後教区仏壮連盟においても、9月1日～3日の2泊3日にわたり団参を募り、17名の仏壮会員の方が参加した。開会式は各教区の連盟旗入場で華々しく始まり、当教区では中村幸雄氏(世羅組光源坊門徒)が旗手をつとめた。落語や記念講演など「ともにいのち輝く朋友の笑顔」の大会テーマの通り、笑いあり涙ありの内容にたくさんの方の笑顔と元気をいただき充実した時間を過ごすことができた。大会中には結成50年以上の団体(全国で18団体)への表彰式が行われ、当教区からは、比婆組浄蓮寺仏教壮年会が表彰された。今回の全国大会(平成32年度)は、当教区が引受教区にあたる。開会式では当教区参加者全員がステージに上がり、甲田正規理事長の音頭で

「備後に来んさいやー」と会場の参加者に向け、次の全国大会への呼びかけを行った。

また、最終日には被災地(宮城県名取市閑上地区)を訪れ、現地ガイドの被災体験を聞き、被害の大きさ・痛みを目の当たりにしながら、日和山慰霊碑の前でお勤めをさせていただいた。昼に夜に地元産物を堪能しつつ会員同士懇親を深め、次回大会に向けて結束が深められるよい機会となった。

修了から継続・再開へ

連研

8月31日(木)本願寺備後教堂にて各組連研

に携わる僧侶・門信徒32名にご

参加いただき、「連研のための研究会」を開催した。

まず比婆組・世羅組の連研担当者より組連研における取り組みについて発表いただき、その後、加藤真悟連研研修講師(大阪教区讀良組自然寺住職)より問題提起をいただいた。昼からは3班に分かれての話し合い法座を行い、全体会では班別発表の後、講師よりまとめの講義をいただいた。教区における連研推進状況は、全ての組が連研開催を達成したが、現在は前期終了後、長く休止中となっている組もある。今後間断なく連研が開催されること、そして休止中の組の連研再開に向けた一助としていただくと、教区としてもさらなる連研推進に向けた今後のサポート体制を構築していきたい。



仏青

仏教青年会で清掃活動を

10月15日(日)、教区仏教青年連盟にて清掃奉仕活動を行った。参加者は中高生が中心となり全体で20名。深津組慶満寺(松井一昭住職)本堂でお勤めと法話聴聞に始まり「みつぎグリーンランド」でBQ。初対面の参加者同士が肉を頬張りながら交流を深めた。その前週は中四国大会(本紙16頁)に参加し、毎月2度のゴミ拾い活動も順調に行なっている。是非とも多くの方に仏青のご縁の輪が広まればと願うばかりである。

750回忌の恵信尼さまをたずねて新潟へ

寺婦

教区寺族
婦人会連盟

(那須玲子委員長)では9月4～5日に2年に一度の研修旅行を行い、寺族婦人31名が参加した。研修初日に訪れたのは、新潟県上越市にある「糸しんの里記念館」、「こぶしの里恵信尼さま会館」。

記念館ミュージアム

内には、恵信尼様に関する絵像、書状等、様々な資料が展示してあり、現地ボランティアの説明を受けた。また隣接する恵信尼さま会館は上越市板橋区において恵信尼様の石塔(寿塔)が発見されて以来、地域住民や仏婦会員が協力し建立した会館を再整備した施設であり、地域や教区、全国の有志の懇念によって護持され、現在に恵信尼様のご苦勞を伝える拠点となっている。

初日の研修が終わり、浄土真宗のお仏壇が設置してある赤倉温泉に宿泊し、懇親の場を設けた。翌日はお朝事をお勤めし、「本願寺



国府別院」、「真宗大谷派光源寺」、「居多ヶ浜」を訪れた。

この地は、親鸞聖人がご流罪になられ、恵信尼様とご結婚生活を営まれた地であり、赦免の後も念仏のみ教えをお伝えされた拠点である。それぞれの沿革や資料を拝見し、聖人のご苦勞を偲んだ。

今回は、平成30年に恵信尼公の七五〇回忌をお迎えするということもあり、ご旧跡である国府地方にて研修を行った。参加した多くの方が、報恩の思いで現地を訪れ、目や耳で親鸞聖人と恵信尼様のご苦勞を偲ぶことができ、実りある研修となった。

内陣出仕の形で研修

勤式



9月8日(金)、三次組照林坊(明山晃映住職)にて前期勤式研修会が開催された。今回の研修では、山崎隆昌僧侶養成部課長をお招きし、「華籠・行道を用いた作法の習得」をテーマに講義と実習を行った。講義では、現在教師教修で依用されている『教師教修教則本 佛説阿弥陀經』巡讀・行道依用』の作成経緯を始め、実習で行われる華籠・行道作法の説明をいただいた。実習は班分けを行い、後堂から内陣出仕の形をとって行われ、参加者一同、改めて学びを深める1日となった。



教区月報

2017

7月

- 3日 仏青清掃活動
- 4～5日 中・四国ブロック
保育連盟連絡協議会
- 5日 同朋社会部会
- 6～7日 第4連区門徒推進員
連絡協議会
- 7日 教堂責役総代会
- 10～11日 全国布教使大会
- 11日 教堂常例法座
(芦田組慶照寺 田坂英尊師)
- 12～13日 第4連区議長・
組長代表・所長会議
- 14日 仏婦会員研修会
- 16日 仏青清掃活動
組長会
- 18日 おつとめ教室、勤式練習会
- 20日 教区報専門委員会
- 21日 同朋社会部会
- 26日 平和のつどい現地下見
- 27日 賦課基準等調整委員会・
常任委員会・常備会
- 29日 まことの保育全国大会
- 30日 仏壮夏期研修会

寺婦

仏婦

仏智に照らされて尊さに気づく

10月6日、仏教婦人会連盟(宮丸こずえ委員長)と寺族婦人連盟(那須玲子委員長)合同にて実践運動研修会が開催され、153名(仏婦119名、寺婦34名)が参加した。加藤一英講師(御同朋の社会をめざす運動中央委員会前委員長)より「いのちをみつめて」と題して講義をいただいた。仏智に照らされて生かされている私たちが、それぞれのいのちをみつめ、その尊さに気づいていけることが実践運動を展開していくうえで重要な目的であるということをお話された。ロビーに物産コーナーを設け、東北・熊本の特産品等を販売し、東日本大震災・熊本地震の被災地支援を継続的に行っている。



家庭と施設における子育ての架け橋を

同朋社会部

(金) 今年度の同朋講座が9月15日(金)に、本願寺備後教堂で

開催された。この度は、芹沢俊介師より「親鸞思想で考える相模原障害者殺傷事件」をテーマに講義をいただいた。参加者は23名。芹沢師は、多岐にわたる活動の中で20年ほど前から「養育を語る会」を立ち上げられ、家庭と施設における子育ての架け橋となる養育論を展開され、その支えが親鸞思想であることを明らかにされつつ、テーマに沿ってお話をいただき、参加者にとって実のある講座となった。



人々の苦悩に寄り添う

ビハール



9月19日(火)、本願寺備後教堂にて、ビハール活動団体・活動者のつどいが開催された。このつどいは、平素よりビハール活動を推進されている各個人、団体を対象に、活動の中で抱える問題点、今後の課題等について情報交換を目的に開かれ、参加者8名と午後からの研修協議会講師、あそかビハール病院の花岡尚樹ビハール室々長に同席いただき、話し合いが行われた。午後からの研修協議会には23名が参加し、「人々の苦悩に寄り添う」をテーマに講師より講義をいただいた。講義を通じて、参加者が苦悩に寄り添うことの意味を考える機会となった。



8月		9月		10月		11月		12月	
6日	仏青清掃活動	2日	仏壮全国大会	25日	ビハール学習会	11日	教堂常例法座	11日	教堂常例法座
11日	教堂常例法座	4日	仏青清掃活動	25日	同宗連役員会・総会	8日	(深津組崇興寺 枝広慶樹師)	(鴨川組正覚寺 竹政信至師)	
		5日	おつとめ教室・勤式練習会	29日	同朋社会部会	7日	法式法務専門委員会		
		6日	第16回真宗講座	30日	ビハール実践学習	6日	前期勤式研修会		
		6日	ご縁づくり中央連絡協議会・スキルアップ研修会	31日	連研のための研究会	5日	前期勤式研修会		
		7日	ご縁づくり中央連絡協議会			4日	前期勤式研修会		
		8日	ご縁づくり中央連絡協議会			3日	前期勤式研修会		
		9日	ご縁づくり中央連絡協議会			2日	前期勤式研修会		
		10日	ご縁づくり中央連絡協議会			1日	前期勤式研修会		
		11日	ご縁づくり中央連絡協議会			31日	前期勤式研修会		
		12日	ご縁づくり中央連絡協議会			30日	前期勤式研修会		
		13日	ご縁づくり中央連絡協議会			29日	前期勤式研修会		
		14日	ご縁づくり中央連絡協議会			28日	前期勤式研修会		
		15日	ご縁づくり中央連絡協議会			27日	前期勤式研修会		
		16日	ご縁づくり中央連絡協議会			26日	前期勤式研修会		
		17日	ご縁づくり中央連絡協議会			25日	前期勤式研修会		
		18日	ご縁づくり中央連絡協議会			24日	前期勤式研修会		
		19日	ご縁づくり中央連絡協議会			23日	前期勤式研修会		
		20日	ご縁づくり中央連絡協議会			22日	前期勤式研修会		
		21日	ご縁づくり中央連絡協議会			21日	前期勤式研修会		
		22日	ご縁づくり中央連絡協議会			20日	前期勤式研修会		
		23日	ご縁づくり中央連絡協議会			19日	前期勤式研修会		
		24日	ご縁づくり中央連絡協議会			18日	前期勤式研修会		
		25日	ご縁づくり中央連絡協議会			17日	前期勤式研修会		
		26日	ご縁づくり中央連絡協議会			16日	前期勤式研修会		
		27日	ご縁づくり中央連絡協議会			15日	前期勤式研修会		
		28日	ご縁づくり中央連絡協議会			14日	前期勤式研修会		
		29日	ご縁づくり中央連絡協議会			13日	前期勤式研修会		
		30日	ご縁づくり中央連絡協議会			12日	前期勤式研修会		
		31日	ご縁づくり中央連絡協議会			11日	前期勤式研修会		
						10日	前期勤式研修会		
						9日	前期勤式研修会		
						8日	前期勤式研修会		
						7日	前期勤式研修会		
						6日	前期勤式研修会		
						5日	前期勤式研修会		
						4日	前期勤式研修会		
						3日	前期勤式研修会		
						2日	前期勤式研修会		
						1日	前期勤式研修会		
						31日	前期勤式研修会		
						30日	前期勤式研修会		
						29日	前期勤式研修会		
						28日	前期勤式研修会		
						27日	前期勤式研修会		
						26日	前期勤式研修会		
						25日	前期勤式研修会		
						24日	前期勤式研修会		
						23日	前期勤式研修会		
						22日	前期勤式研修会		
						21日	前期勤式研修会		
						20日	前期勤式研修会		
						19日	前期勤式研修会		
						18日	前期勤式研修会		
						17日	前期勤式研修会		
						16日	前期勤式研修会		
						15日	前期勤式研修会		
						14日	前期勤式研修会		
						13日	前期勤式研修会		
						12日	前期勤式研修会		
						11日	前期勤式研修会		
						10日	前期勤式研修会		
						9日	前期勤式研修会		
						8日	前期勤式研修会		
						7日	前期勤式研修会		
						6日	前期勤式研修会		
						5日	前期勤式研修会		
						4日	前期勤式研修会		
						3日	前期勤式研修会		
						2日	前期勤式研修会		
						1日	前期勤式研修会		
						31日	前期勤式研修会		
						30日	前期勤式研修会		
						29日	前期勤式研修会		
						28日	前期勤式研修会		
						27日	前期勤式研修会		
						26日	前期勤式研修会		
						25日	前期勤式研修会		
						24日	前期勤式研修会		
						23日	前期勤式研修会		
						22日	前期勤式研修会		
						21日	前期勤式研修会		
						20日	前期勤式研修会		
						19日	前期勤式研修会		
						18日	前期勤式研修会		
						17日	前期勤式研修会		
						16日	前期勤式研修会		
						15日	前期勤式研修会		
						14日	前期勤式研修会		
						13日	前期勤式研修会		
						12日	前期勤式研修会		
						11日	前期勤式研修会		
						10日	前期勤式研修会		
						9日	前期勤式研修会		
						8日	前期勤式研修会		
						7日	前期勤式研修会		
						6日	前期勤式研修会		
						5日	前期勤式研修会		
						4日	前期勤式研修会		
						3日	前期勤式研修会		
						2日	前期勤式研修会		
						1日	前期勤式研修会		
						31日	前期勤式研修会		
						30日	前期勤式研修会		
						29日	前期勤式研修会		
						28日	前期勤式研修会		
						27日	前期勤式研修会		
						26日	前期勤式研修会		
						25日	前期勤式研修会		
						24日	前期勤式研修会		
						23日	前期勤式研修会		
						22日	前期勤式研修会		
						21日	前期勤式研修会		
						20日	前期勤式研修会		
						19日	前期勤式研修会		
						18日	前期勤式研修会		
						17日	前期勤式研修会		
						16日	前期勤式研修会		
						15日	前期勤式研修会		
						14日	前期勤式研修会		
						13日	前期勤式研修会		
						12日	前期勤式研修会		
						11日	前期勤式研修会		
						10日	前期勤式研修会		
						9日	前期勤式研修会		
						8日	前期勤式研修会		
						7日	前期勤式研修会		
						6日	前期勤式研修会		
						5日	前期勤式研修会		
						4日	前期勤式研修会		
						3日	前期勤式研修会		
						2日	前期勤式研修会		
						1日	前期勤式研修会		
						31日	前期勤式研修会		
						30日	前期勤式研修会		
						29日	前期勤式研修会		
						28日	前期勤式研修会		
						27日	前期勤式研修会		
						26日	前期勤式研修会		
						25日	前期勤式研修会		
						24日	前期勤式研修会		
						23日	前期勤式研修会		
						22日	前期勤式研修会		
						21日	前期勤式研修会		
						20日	前期勤式研修会		
						19日	前期勤式研修会		
						18日	前期勤式研修会		
						17日	前期勤式研修会		
						16日	前期勤式研修会		
						15日	前期勤式研修会		
						14日	前期勤式研修会		
						13日	前期勤式研修会		
						12日	前期勤式研修会		
						11日	前期勤式研修会		
						10日	前期勤式研修会		
						9日	前期勤式研修会		
						8日	前期勤式研修会		
						7日	前期勤式研修会		
						6日	前期勤式研修会		
						5日	前期勤式研修会		
						4日	前期勤式研修会		
						3日	前期勤式研修会		
						2日	前期勤式研修会		
						1日	前期勤式研修会		
						31日	前期勤式研修会		
						30日	前期勤式研修会		
						29日	前期勤式研修会		
						28日	前期勤式研修会		
						27日	前期勤式研修会		
						26日	前期勤式研修会		
						25日	前期勤式研修会		
						24日	前期勤式研修会		
						23日	前期勤式研修会		
						22日	前期勤式研修会		
						21日	前期勤式研修会		
						20日	前期勤式研修会		
						19日	前期勤式研修会		
						18日	前期勤式研修会		
						17日	前期勤式研修会		
						16日	前期勤式研修会		
						15日	前期勤式研修会		
						14日	前期勤式研修会		
						13日	前期勤式研修会		
						12日	前期勤式研修会		
						11日	前期勤式研修会		
						10日	前期勤式研修会		
						9日	前期勤式研修会		
						8日	前期勤式研修会		
						7日	前期勤式研修会		</

「特別布教大会」in 世羅

9月25日、布教団主催の特別布教大会が、世羅組善行寺(真澄慎一住職)の秋季彼岸会をご縁に開催された。出講者は下記の通り。

長谷川憲章(三谿組善徳寺)、小武正教(三次組西善寺)、那須英信(沼隈南組善正寺)、福岡玄猷(三次組源光寺)、足利法水(沼隈南組法輪寺)、平山義文(深津組光榮寺 副団長)

布教団

※敬称略

「青年布教大会」in 神石

10月29日、青年布教使の会が主体となり、神石組泉正寺(柏原隆祥住職)の仏壮・仏婦合同研修会をご縁として青年布教大会を開催した。この大会は以前から教区主催で行ってきたが、昨年度より布教団連合の要項に基づき開催されることとなり、全国的な青年布教使の育成に重点が置かれている。

出講者は下記の通り。敬称略

塩田信成(備中里組高運寺)、伊川大慶(三次組西覚寺)、武田英城(芦田組光秀寺)、栗原一乗(世羅組浄楽寺 副団長)

混沌とする現代に「念仏者と布教使」を考える

布教団

中・四国地区の青年布教使(45歳未満・布教使任用5年未満)

の研鑽と育成をめざす2017(平成29)年度第4連区青年布教使研修会が、9月28日(木)、29日(金)の2日間、備後教区布教団青年布教使の会(竹政信至代表)の引き受けて開催された。総勢83名の参加者は、初日に本願寺備後教堂での開会式の後、ご協力いただいた深津組光榮寺(平山義文住職)、崇興寺(枝廣慶樹住職)、光照寺(季平康住職)、光明寺(藤間幹夫住職)の4会場に分かれ、「念仏者の生き方」不安な今を生きる」という研修会テーマのもと、各会場で青年布教使3名、まとめの法話として副団長1名が布教実践を行った。実演後には、各教区から参加の副団長を中心とした講評があり、参加者共々に布教への研鑽を深めた。



二日目は本願寺備後教堂を会場に、吉崎哲真布教団連合同朋研修講師による同朋研修、その後、赤松徹眞龍谷大学名誉教授が「混沌とする現代と念仏者の歩み」として講義を行った。混沌とする現代においてどの様に法義を伝えていくのか、参加者各々が、気付きと課題を持ち帰ることの出来た有意義な研修会であった。備後からの出講者は次の通り。

千葉隆誓(芦田組光明寺)



15日	同朋社会部会 同朋講座
19日	ビハール団体・活動者の つどい 備後研修協議会
20日	総局巡回・公聴会
24日	連区青年布教使研修会
25日	特別布教大会 (世羅組善行寺) 事前会議
26日	仏婦連だより取材 (深津組光行寺)
28日	連区青年布教使研修会
10月	
2日	同朋社会部
2日	僧研新テキスト学習会
2日	組長会
4日	ビハール実践学習(新山荘)
4日	同朋三者懇
5日	法式専門委員会
6日	仏婦・寺婦実践運動研修会
7・8日	中四国ブロック真宗 青年のつどい(山陰教区)
10日	臨時教区会
11日	教堂常例法座
12日	(神石組法泉寺 川上順之師) おとめ教室・勤式練習会
13日	賦課基準調整委員会
14日	仏壮理事会

教区「門徒総代会研修会」

門徒総代会



10月26日(木)～27日(金)、2日間の日程で本年度教区門徒総代会研修会を開催した。

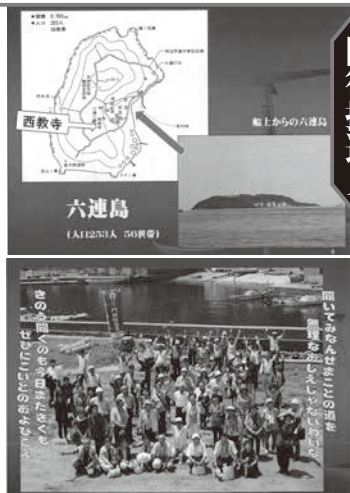
ご講師には瀧沢良孝講師(安芸教区佐伯東組正覚寺住職)をお招きし、26日は御調西組法泉寺(小島照行住職)、27日は御調東組照源寺(久本晃道住職)を会所に、2日間で計164名の総代・住職方にご参加いただいた。

住職寺族とともに護持運営に携わり、お寺参りを率先してくださる総代として、熱心に聴聞し、意義ある研修会となった。

& News



門徒推進員



お寺へのご縁 つくりつなぎ深める

10月28日(土)～29日(日)、山口県湯田温泉かめ福にて第4連区門徒推進員実践運動研修会が開催された。備後教区からは18名が参加し、現地にはバスで向かったため、移動の間も教区内参加者同士で終始交流を図ることができた。研修会1日目は、松月博宣講師(海徳寺前住職)より「あなたは何を残して死にますか」を軸に問題提起がなされ、各教区参加者が班ごとに分かれ話し合い法座に臨んだ。2日目は、熊谷正信中央研修講師より法話をいただき、研修会引受の山口教区門徒推進員によるアトラクション「六連島のお軽さん」を通して、お念仏の土徳を感じる研修会となった。

真宗講座で三往生義

広報伝道部

11月9日(木)、17回目を迎えた真

宗講座が本願寺備後教堂で行なわれた。講師に安方哲爾講師(大阪教区南郡組正満寺住職、本願寺派布教使)をお迎えし、「三往生義」(三種の往生の違いによって知る真宗の救い)をテーマに講義をいただいた。「三往生義」は、今年度の安居の会読論題に挙げられており、参加者一同、お聖教のお言葉を読みながら学びを深めた。



15日	仏青教区のことい
17～18日	環境・人権問題 現地学習会(水俣)
20日	門信徒のつどい
21日	龍谷大学入澤学長就任 祝賀会(尾道)
26～27日	教区総代研修会 (26日 御調西組法泉寺) (27日 御調東組照源寺)
28～29日	連区門徒推進員 実践運動研修会(山口)
29日	青年布教大会 (神石組泉正寺)
31～1日	宗派会計監査
11月	
7日	ビハーク備後 実践学習
9日	第17回真宗講座
10日	法務法務専門委員会
11日	教堂常例法座
16日	(鴨川北組円福寺 三條義見師) おつとめ教室・勤式練習会
24日	おみがき
24日	仏婦役員会
30日	教堂報恩講法要

今後の予定

12月(平成29年)

- 11日 教堂常例法座
 12日 ご縁づくり推進委員会
 15日 賦課基準等調整委員会 全体会
 21日 備龍会 会館清掃奉仕
 22日 組長会

◇◇◇ 1月(平成30年)

- 11日 教堂常例法座
 19日 第18回真宗講座
 23日 おつとめ教室・勤式練習会
 24日 布教団研修旅行

Information

教区行事

第18回 真宗講座

期日 2018年1月19日(金)
 会場 備後教堂
 講師 安方哲爾 先生
 テーマ 「是報非化」
 ～阿弥陀様とはどんな仏様～

教区 僧侶研修会

期日 2018年2月20日(火)
 会場 御調束組 照源寺
 講師 森田眞円 勧学
 テーマ 「お正信偈の話」
 ～中国三祖について～

TEL (084) 924-5759
 fax (084) 931-9323

『教区報』の編集にあたり、皆様
 のご意見やご感想、情報の提供を
 お待ちしています。教区報専門
 委員会まで、ご一報ください。

ごあんない



fumira

教区 得度習礼講習会

期日：2018(平成30)年3月27日(火)～28日(水)
 会場：本願寺備後教堂
 対象：満15歳以上で得度習礼を受けようとする者
 募集定員：10名程度
 受講料：15,000円(講習受講料、2日間昼食代含む)
 申込み：受講希望の方は備後教区教務所までお電話ください。申込みにかかる書類を送付させていただきますので、届きました書類に必要事項をご記入いただき、受講料を添えて備後教区教務所へお申込みください。
 備考：講習会受講にかかる交通費、並びに宿泊費については受講者手配の上各自ご負担下さい。得度考査受験については講習会とは別日を設けての受験となります。受験希望の方は備後教区教務所までご相談下さい。

第61回中四国地区仏教婦人会大会

期日：2018(平成30)年8月29日(水) レセプション
 8月30日(木) 大会
 場所：徳島県立産業観光交流センター(徳島市)※レセプション会場未定
 講師：菅原文子さん(気仙沼市すがとよ酒店)
 法話楽団 迦陵頻伽
 備考：ご門主様がご臨席されます。

皆様の参加をお待ちしております

得度許可

おめでとう
ございます
「敬称略」

神石組 正善寺 上原 寄夫(釋静隆)

(平成29年6月15日付)

御調西組 専光寺

藤井 紀子(釋明慧)

(平成29年7月15日付)

沼隈西組 善性寺

藤原 如子(釋慈恩)

沼隈西組 萬福寺

松林 学耀(釋頭耀)

芦田組 西教寺

長 光寿(釋光寿)

(平成29年8月10日付)

教師授与

おめでとう
ございます
「敬称略」

沼隈西組 光満寺

赤柴 徹真(釋徹真)

(平成29年6月30日付)

深津組 光蓮寺

杉野 光恵(釋光恵)

(平成29年7月26日付)

比婆組 西楽寺

定光 慧(釋大慧)

三次組 福泉坊

水戸 竜平(釋心海)

三次組 福泉坊

水戸 智舟(釋智舟)

御調東組 照源寺

久本 晃真(釋晃真)

世羅組 照光寺

松尾 忠正(釋大行)

(平成29年8月28日付)

敬 弔

お悔やみ申し
上げます
「敬称略」

世羅組 正満寺

前坊守 島津 幸子(8月9日寂)

鴨川組 法光寺

前住職 玉井 行正(9月25日寂)

神石組 光福寺

前坊守 佐武 妙香(10月3日寂)

世羅組 善正寺

衆 徒 福光 恵(11月13日寂)

深津組 崇興寺 前々住職 枝廣 重雪
(12月1日寂)

本願寺備後教室(毎月11日)

常例法座案内

出講者(敬称略)

平成30年(2018)
1月 奥組 泉瀧寺

大塚 裕玄
「仏様のあたたかい
まなざしの中で」

2月 御調東組法光寺

季平 博昭
「学仏大悲心・仏道を歩む」

3月 沼隈南組南泉坊

岡部 正顕
「ただほればれと」

教堂年末年始休館日のご案内

下記の期間、教務所業務を休みます
12月28日(木) 午後～
1月8日(月)

死亡扱いは組長を通して本山にお届け下さい。

編集後記

最近5歳の長男が、夜空に向か
っておもちゃの天体望遠鏡を覗
くことが日課となっています。

お目当ては月▲15世紀(今から500年くらい
前)まで、地球は宇宙の中心にあって、太陽や月
や星が地球の周りを回っていると信じられていま
した。これを天動説と言うそうです。それが16
世紀になってポーランド生まれのコペルニクス
(1473～1543)が登場し、世の中の定説
を覆します。彼は地球やその他の惑星が太陽の周
りを回っているという地動説を提唱しました。そ
の後、イタリアの天文学者ガリレオ(1564～
1642)や万有引力の法則で有名なイギリスの
ニュートン(1643～1727)によって発展・
証明され、この地動説が現在も定説となっていま
す。このように、ものごとの考え方が180度変わる
こと、これまでの常識をひっくり返すようなこと
が起こったとき、そういう発想が生まれたときの
ことを指して、「コペルニクスの転回」と言いま
す▲コペルニクスの登場よりも昔、法然聖人は聖
道門の教えが主流であった時代に『仏説無量寿経』
を選択され、浄土教の教えをお示しになりました。
た。その教えを聞かれた親鸞聖人は、法然聖人の
示された教えを浄土真宗としてあきらかにされま
した。「私から仏に」という常識から「仏から私に」
という180度の転換。まさにみ教えにおける「コペ
ルニクスの転回」。報恩講シーズン真っ盛りのこ
の時期、今夜も長男が天体望遠鏡を相棒に天体観
測。凍てつく寒さの中、法然聖人、そして親鸞聖
人のご遺徳を偲ばせていただく事です。(Z・Y)

f 特集 feature articles

中四国 真宗青年のつどい



10月7日～8日、山陰教区担当で中四国大会。会場は「島根県立青少年自然の家サンレイク」



お参りして「レザークラフト」「コップ作り」。夕食の懇親会はみんな大人なので、お酒もいただきました。



10月7、8日、山陰教区担当で平成29年度中四国ブロック真宗青年のつどい「大人の修学旅行」が開催された。参加人数は全体で30名（備後から17名参加）。備後から参加した青年の半数は読経が始めてであり、少しぎこちない様子。しかしながら誰一人として無下にする者はいなかった。これも大きな学びになったに違いない。

カッター訓練は厳しく指導が入り、時に大きな声で叱られることもあった。約4キロの距離を全員で声を出しながら漕いだ。皆、全身に疲労が溜まり、特に握力は無くなってきたが、無事ゴールできたときには、声をあげて喜べた。若手世代に仏様のご縁を繋ぐことはとても大切な取り組みであるが、全国的にもうまくいっているとは言い難い。しかしながら一歩一歩の活動が一人また一人と法縁慶ぶ仏教青年を生む活動であることは間違いない。是非継続して活動していきたい。

この仏教中四国ブロック大会は来年度備後教区が開催教区を受け持つことが決まっている。是非、多くの方の参加とご支援ご協力を仰ぎたいものである。

寺院活性への道 微妙の華 mimyou no hana

11月5日、沼隈西組万福寺にて万福寺仏士・仏婦主催による「お寺でオペラ」が盛況に開催された。

オペラ歌手として活躍する田坂蘭子さん（芦田組慶照寺（寺族）岡本泰寛さん（東京都誓願寺（衆徒））らを招き、童謡、仏教讃歌、オペラなど心に響く歌声を披露。

この催しに門徒推進員などを

をはじめ教区内外より多くの方がお参りされ、癒しのひと時を過ごされた。

